

## 膵癌切除症例における炎症性マーカーの意義についての検討

### 1. 研究の対象

2009年1月から2015年1月までに、国立がん研究センター東病院で膵がんに対して切除をおこなった196名を対象とします。

### 2. 研究の概要

好中球数リンパ球数比といった炎症性マーカーは、簡便に測定でき、膵がんの予後を反映するマーカーとして報告されています。しかし、過去の報告は対象数が少なかったり、治療方針の異なる患者さんを含まれており、十分には検討されていません。本研究では、膵がん手術後に補助化学療法を行っている患者さんにおいて、各種炎症性マーカーが予後を反映するのかどうかを調査し、膵がんにおける炎症性マーカーの意義について詳しく検討します。

### 3. 研究の意義と目的

好中球数リンパ球数比といった各種炎症性マーカーは、様々ながんにおいて予後との関連が報告されていますが、膵がん手術例における報告は多くありません。本研究では、膵癌手術後に補助療法を行っている症例において、各種炎症性マーカーと生命予後との関連を調査し、膵がんにおける炎症性マーカーの意義について検証します。

本研究により、膵がんにおいて炎症性マーカーが予後予測因子として有益かどうかを判明すれば、膵がんに対して手術を受け、続いて補助化学療法を受ける場合の治療選択の一助になる可能性があり、今後手術を受ける多くの膵がん患者さんに役に立つ情報であると考えています。

### 4. 方法

2009年1月から2015年1月までに国立がん研究センター東病院肝胆膵外科で膵がんに対して手術が行われた患者さんの診療録から必要な情報を収集し、検証します。収集したデータは国立がん研究センター東病院肝胆膵外科の下で、期限を定めずに国立がん研究センター内に厳重に保管します。

### 5. 個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療録等には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は、研究登録時に発行される登録番号を使って管理するため、患者さんの氏名などの個人情報が院外

に出ることはありません。また患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますのでいつでも下記まで申し出て下さい。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先**

・ 研究責任者

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 医長 後藤田直人

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724

・ 研究事務局

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 中山雄介

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724